

# 令和7年度「地域学校協働本部事業」 楡葉町地域学校協働センター【家庭教育支援事業】の取組事例

## 「まちと作り上げる家庭教育支援」(福島県楡葉町)

### 取組の概要や経緯

令和5年度に地域学校協働センター内に家庭教育支援サロンを開設し、小学校内で活動を開始した。令和6年度に活動場所をこども園に併設されている子育て支援センターへと移転した。子育て世代だけでなく、その家族や地域住民が利用しやすい支援体制を展開した。



### 内容

- 恒常的な支援体制の構築
  - ・子育て支援センター内にて毎週火曜日に支援員が誰でも利用できるサロン「ふらっとながら」を実施
- 親子交流イベントや町内イベントでの活動を展開
  - ・こども園と共催で親子交流イベントを企画
  - ・町内の祭りやこども教室の親子活動に参加し、幅広い世代と交流を図る
- こども園の運営に発達や心理の専門的な知見を活かした支援を展開
  - ・月に1回程度、スクールカウンセラーによる巡回相談指導を実施
- 離乳食教室やベビママ教室への継続的な参加
  - ・町の保育士が主催する教室等に参加し、保護者と継続的なつながりを作る

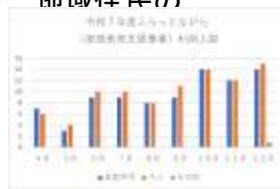


### ポイント

- 今年度も子育て支援センターで活動を継続し、広報や口コミを通じてより多くの方に認知してもらえた。
- 町の取り組みや様々な催しに参加することで、支援センター内での活動では交流することのなかった子育て世代や、地域の方々と交流を図ることができた。

### 成果

- 支援センターでの継続的な活動により、昨年度より多くの子育て世代に利用してもらえた。令和7年4月～12月の利用人数は合計176人で、地域住民の方や利用者の方の紹介による町外の方の利用もあった。
- 毎週の活動の中で、子育ての困りごとや不安感があるご家庭がいれば、支援員から保健師を紹介したり離乳食教室などの教室を案内したりして関係機関との連携を図り、不安解消へとアシストできた。



### 今後の方向性

- 恒常的な相談業務の中で、子育て世代の困りごとなどに対し、支援員の知識では回答しかねることもあるため、関係機関につなぐ等でスムーズに対応できるように連携していきたい。また、研修などに積極的に参加し、支援側の知識の定着にも努めたい。
- スクールカウンセラーに加え、特別な支援を要する子どもへの支援などを専門とする外部講師などを招き、面談や講演を実施するなど、幅広い分野で支援ができる体制を展開する。